

ウムチョ ムィーザ通信

No. 43

ルワンダ語で「良い文化学園」の意味を表します。

現地 NGO「ADESOC」報告

2016年2月16日

ウムチョ ムィーザ学園 フランソワーズ校長より

皆さんこんにちは、お元気ですか？

この場をお借りして、2011年3月東日本大震災により亡くなられた方のご冥福を祈ります。それから未だ被害を受けて避難している方々が一日も早く安心して暮らせることを祈ります。

ウムチョ ムィーザ学園を支えてくださっている皆様に私たち職員一同感謝申し上げます。

当学園の運営のために、経済的・技術的な支援を惜しまずと与えてくださっている日本の皆様のご協力に感謝申し上げます。それらの支援によって、貧しくて授業料を払うことが出来ない子ども達の教育に尽くすことができました。

特に青年海外協力隊を当学園に派遣して下さっているJICA様の協力によって、幼稚園の子ども達が特別に日本の教育に触れることができています。現在の協力隊員は4人目でこの学校に夢や希望を与えて下さっていることに感謝します。



昨年11月6日に、卒業式と終業式を終了して、今年の2月2日新学期スタートまで、子ども達にとっては、長い長い休みが続きました。何故新学期



開始が約1ヶ月近く遅くなったのでしょうか。それは、教育省の主催で新しいカリキュラムをまず各学校の代表教師を2週間合宿させて指導し、その後その教師を通して全教師に指導徹底するためでした。この結果、今年から新しいカリキュラムに沿って授業が行われます。子ども達にとってより良い授業になってほしいと願っております。

さて、昨年卒業した生徒達22名の国家試験が好成績であった事をご報告します。100%中学校に進学することが出来ました。なかでも19名は公立の名門校に合格することが出来、3名は私立の中学校に進学しました。ここまで導くために、3学期の中間試験の結果が良くなって、教師会でもそれが問題になって、教師も生徒も一生懸命努力しました。

悪い結果に諦めず、投げ出さず、先生も生徒も共に努力した結果、良い成績でした。やればできるんだという素晴らしい体験ができました。

2015年は286名で年度を終わり、今年度は287名でスタートしました。幼稚園児は3教室55名、小学校の児童は7教室232名です。校長・教頭・教師・調理員・警備員・用務員すべてのスタッフ32名でADESOCのチャールズ理事長を先頭に、休まずに学校を発展させることに努力してまいります。

日本からの応援をいただいて子ども達の夢が社会人として実現できることを共に願いながら頑張っていきたいと思っております。ご理解をいただければ幸いです。